

環境に優しい靴下が国内外で評判

ヤマヤ株式会社 奈良県広陵町

ヤマヤ株式会社は1820年創業（設立：1983年）の靴下メーカー。代表取締役社長の野村佳照氏は、農業や化学肥料の使用に厳格な規制を設け栽培された「オーガニックコットン」の良さをいち早く理解し、知名度が今ほど高くなかった時代からオーガニックコットンを使った製品を生産してきた。当時は消費者からの理解をなかなか得られなかったが、2007年12月に発生した海外産食品の農薬残留問題を機に食の安全・安心を求める声が強くなり、その流れが「食」から「衣」へと波及。肌に直接触れる衣類の材質への関心が高まり、今や消費者はオーガニックコットンのような環境に優しい製品を求める時代になっている。

同社の主力製品のうち「ヤクパイルソックス」は、高山動物のヤクの毛とオーガニックコットンの混合糸を使いパイル編みした温かく履き心地のよいソックスで、手にした人からは素材の感触が良いと評判である。

そして、8年前に取り組んだのが「ガラボウソックス」である。ガラボウソックスは、日本で発明された紡績機で紡がれた糸（ガラ紡糸）で編んだ靴下。ガラ紡糸は撚りが緩く凹凸があるため吸水性に優れているという特徴を持ち、編み上がった製品はまるで手編みのような独特の風合いがある。

ガラボウソックスの試作品を初めて出したのは東京の展示会。太さが均一でないガラ紡糸は機械に絡みやすいため編むのが難しく、長い試行錯誤の末に完成したのは展示会の前日だった。十分な準備やPRができないままに出展したが、不思議なことに目を引き、特に目の肥えたセレクトショップのバイヤーから次々とガラボウソックスを扱いたいとの声が出てきた。

同社の製品は近畿経済産業省など公的機関からも数々の認定を受け、注目を集めている。例えば、

近畿経済産業局の「DISCOVER KANSAI」に認定されたガラボウソックスは、フランス・パリにおいて常設展示され、環境に優しいことがフランス人に評価された。2015年5月には「世界にまだ知られていない、日本が誇るべき地方産品」を海外に広く伝える経済産業省のプロジェクト「ザ・ワンダー500」において、全国500品のうちのひとつにも選ばれた。

「今は飽食の時代。モノが巷に溢れているが、その中でも必要とされるものはある。環境や健康への消費者の関心の高まりを受け、それに関連した製品を多く生産していきたい」と意気込みを語る野村社長。今後も同社は、海外への販売も視野に入れつつ、履く人の健康面や環境面に配慮した良い製品を作り続けていく。

（丸尾尚史、太田宜志）



「ヤクパイルソックス」(右)と「ガラボウソックス」(下、右下)



野村 佳照 氏

ヤマヤ株式会社

〒635-0824

奈良県北葛城郡広陵町疋相97番地の1

TEL : 0745-55-1326

FAX : 0745-55-5133

URL : <http://yamaya-e.com>